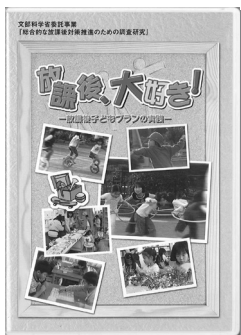


NEWS CLIP & AV MATERIAL

● ニュースクリップ&映像教材



■DVD「地域とつくる子どもの居場所—放課後子ども教室の立ち上げ事例をとおして—」(30分)を全国の教育委員会へ送付

(財)日本視聴覚教育協会では、平成20年度文部科学省委託事業「総合的な放課後対策推進のための調査研究」により、DVD「地域とつくる子どもの居場所—放課後子ども教室の立ち上げ事例をとおして—」(30分)を6,000枚作成し、全国の各都道府県・市区町村・東京23区の教育委員会へ送付した。行政担当者等が新たに「放課後子ども教室」を立ち上げる際の参考に、3つの実践事例を通して地域の教育力を活かした運営体制づくりや人材確保の方策、ポイントとなる考え方を紹介している。

NEWS CLIP

AV情報

■(財)パナソニック教育財団「第35回実践研究助成」助成先決定

(財)パナソニック教育財団による標記助成先が決定した。「実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画への助成を行うもので、今回の助成件数は73件(一般〈1年間助成〉小学校32、中学校15、高等学校15、特別支援教育諸学校8、教育研究所・教育センター3)。特別研究指定校〈2年間継続研究〉3)である。助成先の詳細については、(財)パナソニック教育財団のホームページを参照。http://www.pef.or.jp/activity/a02_jissen/a02_03list_h21.html

■「2009年度鈴木みどりメディア・リテラシー研究基金」研究助成決定

メディア・リテラシー分野における若手研究者

を対象に、人材育成とメディア社会を生きる能動的な力を育成することを目的に助成される標記基金の研究助成先3件が決定した(敬称略)。

「テレビにおける女性アナウンサーの役割:“女子アナ”活躍への批判的検討」有馬明恵(東京女子大学准教授)、「メディア・テキストの経験—若年層の受容者がドラマのいじめ描写に見出す『リアル』さについての—考察」高橋すみれ(名古屋大学大学院博士後期課程)、「男性雑誌におけるジェンダーの表象分析—『男らしくない男/男らしい男』に通底する『男らしさ』」辻泉(松山大学准教授)〈問い合わせ先〉NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所(研究助成金担当)

MAIL hgoto@tt.rim.or.jp

コンクール情報

■「第50回科学技術映像祭」入選作品決定

優れた科学技術映像を選奨し、科学技術の普及

と向上を図ることを目的に（財）日本科学技術振興財団、（社）映像文化製作者連盟、（財）つくば科学万博記念財団の共催による標記映像祭の入選作品が発表された。全国60機関から、76作品の応募があった。内閣総理大臣賞には「黒い樹水－自然からの警告」（企画・制作RKB毎日放送（株））が受賞した。

〈表彰式・入選作品発表会〉 表彰式は、平成21年4月17日（金）科学技術館（東京都千代田区北の丸公園2-1）。入場無料。また、全国13都市で入選作品の上映会を実施。

〈問い合わせ先〉（財）日本科学技術振興財団振興事業部 TEL 03-3212-8487

■「第25回学習ソフトウェアコンクール」作品募集

（財）学習ソフトウェア情報研究センターでは、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、および養護学校等の授業で活用するために教師等が自ら作成したソフトウェアやデジタルコンテンツを対象に、標記コンクールを実施する。

〈対象作品〉 A. 先生等が作成したもの。先生等が、児童生徒の学習のために作成した次のような形態、またはこれらを複合するソフトウェアやコンテンツ（ソフトウェア、ホームページ、素材集、DVDビデオ） B. 児童生徒が作成したもの。先生の指導のもと、児童生徒が総合的な学習の時間等授業で作成したソフトウェアやコンテンツ（ソフトウェア、ホームページ、素材集、DVDビデオ）

〈応募資格〉 ①団体。学校、教育委員会、教育センター、その他教育機関、研究グループ等。先生の指導のもとにあるクラス等の児童生徒。

②個人。学校の先生、教育委員会、教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等。

〈審査のポイント〉 作品を授業で使うことにより、学習を効果的に進めることができるか。開発者の創意・工夫が折り込まれているか。作品の内容、質はどうか。

〈賞〉 文部科学大臣奨励賞（団体賞、個人賞、各賞金10万円と副賞）、学情研賞、日本児童教育振興財団賞、奨励賞他。

〈応募期限〉 平成21年5月15日（金）。「応募要領」（<http://www.gakujoken.or.jp/>）に基づき作品提出する。

〈問い合わせ先〉（財）学習情報ソフトウェア情報研究センターコンクール係
TEL 03-5919-3401

■ 2009年度キッド・ウィットネス・ニュース（KWN）日本募集

（株）パナソニックによるキッド・ウィットネス・ニュース（KWN）は、ビデオ制作活動が、メディア教育のひとつとして、広く小学校・中学校の授業や教育活動に普及することを目的とする教育支援プログラムである。本プログラムでは、小・中学校を対象とするビデオ作品を募集している。募集の詳細は、下記の通り。

〈概要〉 ①参加校には、ビデオ機材を貸与（デジタルビデオカメラ1式・取材用マイク1本・三脚1本）。②授業や課外活動の中で、テーマ「環境」もしくは「ふれあい」に、5分以内のビデオ（DVDもしくはMiniDV）作品制作を行い、できあがった作品と報告書の2点を提出。提出作品の中から優秀な作品を選出し、表彰する。最優秀作品は「KWNグローバルコンテスト」（世界大会）に出品。

〈応募資格〉 ①原則として、小学校4年生～中学3年生を対象とし、学校内のクラブ、有志、クラス等で、5人以上のメンバーを有するグループとする。②指導者として、小・中学校の先生がいること。③学校長の承認を得ていること等。

〈応募方法〉 ①所定の書式の申請書に必要事項を記入し、平成21年5月18日（月）までに下記問い合わせ先まで郵送のこと。

〈問い合わせ先〉 KWN日本事務局（財）パナソニック教育財団内 〒105-0001東京都港区虎ノ門1-1-10第2ローレルビル6F
TEL 03-5521-6100

各地の情報

■ 第21回すかがわ国際短編映画祭

すかがわ国際短編映画祭実行委員会・須賀川市・須賀川市教育委員会主催による標記映画祭が下記のように開催される。今回は、第81回アカデミー賞短編アニメ賞受賞の加藤久仁生監督をゲストに迎える。

〈日程〉 平成21年5月9日（土）・10日（日）
〈会場〉 須賀川市文化センター（福島県須賀川市牛袋町11）

〈上映作品〉 加藤久仁生監督の「つみきのいえ」他、国内外の36作品を上映。詳細は、<http://yagi-building.com/sisff/works/page/works.html>を参照。

〈入場料〉 1日券500円、2日間共通券900円、

高校生以下無料。
 (問い合わせ先) すかがわ国際短編映画祭実行委

員会事務局 (須賀川市教育委員会生涯学習課内)
 TEL 0248-88-9170

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

- 2月選定 〔紙〕紙しばい / 〔ビ〕ビデオ / 〔D〕DVD
 「いーれーて!」〔紙〕8枚〈幼稚園／幼児、教養〉(株)童心社
- 「こぐまのポグちゃん」〔紙〕8枚〈幼稚園／幼児、教養〉(株)童心社
- 「せかいいちびつたりのおうち」〔紙〕12枚〈幼稚園・小学校(低学年)／幼児、教養〉(株)童心社
- 「ふたりはなかよし—オウエンとムゼイ—」〔紙〕12枚〈幼稚園・小学校(低学年)／幼児、教養〉(株)童心社
- 「万引きはぜったい悪い」〔D〕14分〈小学校(中学年)、特別活動〉東映(株)
- 「毎日がつらい気持ちわかりますか ゆるせない! ネットいじめ」〔ビ〕18分〈小学校(高学年)、道徳・特別活動〉(株)映学社
- 「中学理科2分野シリーズ(6巻)第4巻 天気とその変化」〔D〕28分〈中学校、理科〉東映(株)
- 「中学理科2分野シリーズ(6巻)第5巻 生物の殖え方」〔D〕24分〈中学校、理科〉東映(株)
- 「中学理科2分野シリーズ(6巻)第6巻 地球と宇宙」〔D〕20分〈中学校、理科〉東映(株)

放送番組・web配信

中学生日記

(土) 19:15~19:44 / NHK教育
 翌週(土) 14:00~14:29 / 再放送 NHK教育
 中部7県は(日) 11:00~11:29 / 再放送 NHK教育
 ※都合により番組内容が変更となる場合があります。

- 10日「マジックの嘘」
 (平成20年5月17日放送分)
- 11日「シリーズ・中1ナビ vol.1 お助けリボン」
- 18日「シリーズ・中1ナビ vol.2 中1クエスト」
- 25日「シリーズ・中1ナビ vol.3 ぶっちゃ

けトーク」

「シリーズ・中1ナビ」では、小学校から中学校に上がる中での生活の変化についていけず、学校そのものがイヤになってしまう“中1ギャップ”をどう乗り越えていけばいいのか、ドラマ2とトークで考えていく。

発見! 人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。
 (放送についての問い合わせ)
 (財)民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

■ 43回 18日「現代開拓物語—おらほの木炭発電所—(仮)」
 (IBC岩手放送)

■ 44回 25日「響—野外保育の『くじら雲』—(仮)」
 (信越放送)

エル・ネット

各機関で行われているさまざまな取り組みが視聴できます。今月の主な新着コンテンツは、下記の通り (<http://www.elnet.go.jp>)。

〈1ch 文部科学省から〉

- 平成20年度教職員著作権講習会
- 平成20年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)記念シンポジウム
 (文化庁制作)

〈3ch こどもコンテンツ〉

- めざせ! すし職人 飾り巻きずしをつくろう!
- 海人(うみびと)養成プロジェクト
- 渋谷のまちから発信! 探検♪春の小川♪と渋谷川の源流をさがしに
- 絵本で知る北海道の自然の不思議
- 美しい日本語のひびき 詩人 金子みすゞの世界
 ((独)国立青少年教育振興機構制作)
- 〈9ch コンクール等(スピーチ他)〉
- 第13回全国中学・高校ディベート選手権
 (NPO法人全国教室ディベート連盟制作)
- 第3回全国高校生英語ディベート大会
 (全国高校英語ディベート連盟制作)